

平成 18 年 2 月 15 日

各 位

神奈川県横須賀市小川町 14 番地 1
株式会社ネットワークバリューコンポネンツ
代表取締役 渡部 進
(コード番号: 3394 東証マザーズ)
問合わせ先 取締役アドミニストレーション
部マネージャー 寺田 賢太郎
TEL 046-828-1804

米国 Crossbeam Systems 社と国内販売代理契約締結のお知らせ

当社は添付の資料のとおり、セキュリティサービススイッチベンダの Crossbeam Systems 社と国内販売代理契約を締結し、国内販売を開始いたします。

なお、本件による業績への影響は軽微であると見ております。

以 上

報道関係者各位

株式会社ネットワークバリューコンポネンツ

**NVC、多様なアプリケーションをサポートする
セキュリティサービススイッチの国内販売を開始
～ Crossbeam Systems 社と国内販売代理契約を締結～**

株式会社ネットワークバリューコンポネンツ（本社：神奈川県横須賀市、代表：渡部 進、以下略称：NVC、東証マザーズ：3394）は、米国 Crossbeam Systems 社（本社：米国・マサチューセッツ州、CEO：Peter G. George）と日本における販売代理契約を締結し、国内販売を開始します。

記

1. 国内販売代理契約締結の背景

ここ数年で、従来からのセキュリティツールであるファイアウォール^{#1}/VPN^{#2}機器に加えて、アンチウイルスシステム^{#3}、侵入検知/防御（IDS/IPS）システム^{#4}といったツールを利用したセキュリティ対策が広まりつつあり、そのセキュリティアプリケーションも多様化しています。

そのために、個別のセキュリティアプリケーションを揃える場合は構成が複雑になり、コストも増大しております。この問題に対応するため、近年UTMと呼ばれる考え方が定着しつつあります。

UTM（Unified Threat Management：統合脅威管理）とは、ファイアウォールやアンチウイルスなど単一の機能を持ったアプライアンスを複数集め、一つの統合したプラットフォーム製品で管理する考え方です。

UTM製品を導入することにより、各種セキュリティツールが担っていた機能を統合して管理することになり、運用管理の負荷を軽減、運用コストの削減、構成がシンプルになる、などというメリットがあります。またUTM製品市場は2008年には、従来のファイアウォール/VPNの単一セキュリティ製品市場を逆転するだろうと業界アナリストは予測しています。

2. 契約メーカー製品概要

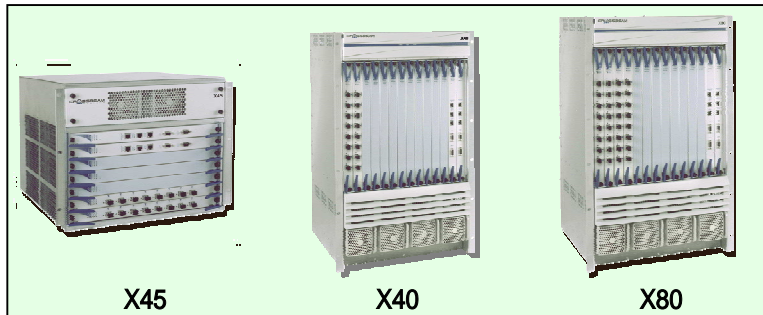
Crossbeam Systems社のセキュリティサービススイッチ^{#5}は、既に市場で機能/信頼性で実績のあるセキュリティアプリケーションをユーザが選択し、複数の組み合わせで1台ないし2台（冗長化^{#6}時など）の筐体に集約することが可能なUTMハードウェアプラットフォームを提供します。

単なるセキュリティアプリケーションを個別に搭載するサーバの統合ということのみならず、設計開発の前提として、ネットワーク処理をハードウェアベースで高速処理する機能や、全てのパーツにおいて冗長/負荷分散を提供する自己回復型アーキテクチャの搭載などを念頭においているため、超大規模企業やサービス事業者にも満足のいく高性能/高可動性、また統合によるコスト削減を実現します。

同社のプラットフォームで動作するアプリケーションの主な提携パートナーとしては、Check Point、Sourcefire、Trend Micro、Forum Systems、Imperva、Websense などが 있습니다。

3. ラインナップ

Xシリーズ



【Xシリーズ写真】

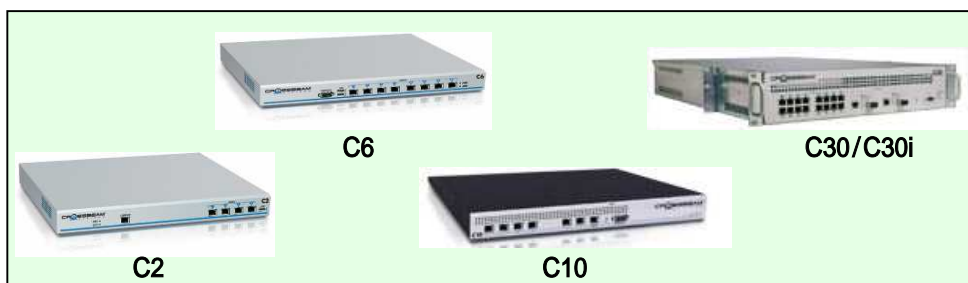
Xシリーズは、シャーシ型の筐体にXシリーズ共通の機能別モジュール^{#7}を必要枚数搭載することにより、各機能に於いて冗長構成/パフォーマンス増強を行うことが可能な中/大規模ユーザ向け製品です。

また、アプリケーション用のモジュールを組み合わせることで、ユーザの選択した複数のセキュリティアプリケーションを1つの筐体で平行動作させ、シンプルなシステム構成を実現できます。

複数セキュリティアプリケーションを動作させているシステムで、筐体内にアプリケーション用の予備モジュールを装備した場合、障害が発生したセキュリティアプリケーションを問わずに、予備モジュールが動的にそのセキュリティアプリケーションの動作を引き継ぐなどの特徴を備えています。

パフォーマンスの目安として、アプリケーション用のモジュール1ブレードにつき最大4Gbpsまでのファイアウォールスループットに対応しています。

Cシリーズ



【Cシリーズ写真】

Cシリーズは、ボックス型の筐体に固定型のネットワークインタフェースを搭載した、中規模企業や大規模企業のリモート/ブランチオフィス向け製品です。

C2/C6に関しては、Checkpoint社ソフトウェアをベースとしたシングルアプリケーションでのマルチファンクションが提供され、C10/C30/C30iに関しては、2つないし3つまでのセキュリティアプリケーションを選択搭載可能となります。

パフォーマンスの目安として、C30では最大3Gbpsまでのファイアウォールスループットに対応していません。

4. 日程

平成18年2月15日発表および発売開始

5. その他

【株式会社ネットワークバリューコンポネッツについて】

ネットワークバリューコンポネッツは、ネットワーク草創期から常に最先端製品を開拓してきたネットワークインテグレータです。ネットワーク製品の提供から、開発、コンサルテーション、構築・保守まで、最先端技術と、豊富な知識・ノウハウ、斬新な企画・発想力を駆使して、あらゆるネットワークフェーズをトータルにサポートしています。

本社所在地	神奈川県横須賀市小川町 14 -1
設立	1990 年 4 月
主要株主	渡部 進
資本金	343,459,550 円
代表者	代表取締役 渡部 進
従業員数	90 名
事業内容	コンピュータネットワーク関連製品の企画、開発、輸入、販売、ネットワークデザイン、構築、コンサルテーション、監視・管理
主要仕入先	Huawei 3Com Technology、Ellacoya Networks、DASAN Networks、Aruba Wireless Networks、Fortinet、Array Networks、Ironport System、Infoblox、Strix Systems、RiverStone Networks、Loglogic、Isilon Systems

【Crossbeam Systems 社について】

Crossbeam Systems 社は 2000 年 3 月に設立、2003 年 Q1 より製品の出荷を開始。2005 年 12 月において、アメリカ、ヨーロッパおよびアジア太平洋のオフィスを含め従業員数は 174 名、うち約 60 人はエンジニアとなります。

統合セキュリティプラットフォームのパイオニアであり、セキュリティインフラの統合、セキュリティポリシーを保護することによる設備投資、運用経費の大幅な削減、ネットワークの安全性とシンプル性を実現するトータルセキュリティソリューションを顧客に提供することをミッションとしています。

中規模以上のユーザを中心に、ハイエンドな UTM 製品として金融機関、製薬会社、政府系機関や大学からメディア会社、製造業および小売り業者まで、世界中で 500 社以上の組織が採用しています。

また IDC、Gartner、GIGA、META、JP Morgan といった業界アナリストが、同社の掲げる先駆的ビジョンをセキュリティインフラの発展に寄与する的確なモデルと認め、その正当性を立証しており、現在全世界のハイエンド UTM 市場において、No.1 のシェアを誇っています。

社 名 :	Crossbeam Systems, Inc.
創 立 :	2000 年 3 月
本 社 :	200 Baker Ave, Concord, MA USA 01742
従業員数 :	174 名(2005 年 12 月)

【用語補足】

#1:ファイアウォール

コンピュータネットワークへ外部から侵入されるのを防ぐシステム。

#2:VPN

インターネット上の拠点間を専用線のように接続し、安全な通信を可能にする技術。

#3:アンチウイルスシステム

コンピュータウイルスを検知し処理する技術。

#4: 侵入検知/防御(IDS/IPS)システム

IDS:侵入検知

ネットワークを監視して、当該のシステム侵入を検知し、管理者に通報するシステム。

IPS:侵入防御

ネットワークへの不正侵入を阻止するもの。機器や、ソフトウェアなどの形で提供される。

#5:スイッチ

一般的な通信では、交換機あるいは切り替え機のこと。

#6:冗長化

一般に冗長という言葉は「冗長な手紙」、「冗長なお話」というように、まわりくどくて無駄の多い表現に使用されます。ネットワーク分野では冗長性（Redundancy）を加えることによって信頼性のある通信を実現し、画像圧縮の場合は冗長性を削減することによって画像情報を効率的に伝送できる仕組みを提供しています。

#7:モジュール

ソフトウェアやハードウェアの構成部品

以 上

本件に関するお問い合わせ先

報道関係者の皆さま

マーケティング担当： 半谷/久保田 TEL 03-5783-1502 E-mail bd@nvc.co.jp

投資家の皆さま

IR担当： 対馬/田端 TEL 03-5783-1500 E-mail ir@nvc.co.jp